

完了後の評価個表

整理番号	森9-1
------	------

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	大分県
ふりがな 地域(地区)名	さいまし 佐伯市	事業実施主体	佐伯市、佐伯広域森林組合等
関係市町村	佐伯市	管理主体	佐伯市
事業実施期間	平成17年度～平成21年度（5年間）	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>① 位置等 佐伯市は、大分県の南部に位置し、南は宮崎県に接し、東は豊後水道、北は津久見市と境を分かち、西には豊後大野市と接し、森林率87.1%の県内有数の林業地帯である。</p> <p>② 森林の状況 本地区の森林面積は64,304ha、そのうち人工林が34,619haで53.8%を占めており、間伐等の森林整備が必要となるⅢ齢級からⅣ齢級の森林が11,383haで約32.9%を占めている。また、地区内の森林のうち、水源かん養保安林が18,254ha、災害防備のための保安林が5,248ha指定されており、約36.5%が水土保全林に区分されている。 このため、森林の持つ水源涵養機能等の公益的機能を高度に発揮させるための森林整備の実施が期待されている。</p> <p>③ 本地区を整備する目的・意義 本地区においてはこれまでに約34,619haの人工林が造成され、収穫期を迎えたⅣ齢級以上の森林が72.6%を占め、森林蓄積は着実に増加している。このため皆伐が増加しており、森林の有する公益的機能の高度発揮のためには、再造林とその後の保育作業を確実に実施する必要がある。</p> <p>(事業概要)</p> <p>森林整備 植栽:415ha、下刈:825ha、除・間伐:2,637ha、枝打ち:274a 作業路:14,403m</p> <p>総事業費 1,443,305千円（当初総事業費 5,496,410千円）</p>
----------	--

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>費用対効果分析の結果は下記のとおり。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>事後評価</th> <th>事前評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総便益 (B)</td> <td>37,317,361千円</td> <td>(129,834,271千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td>4,886,355千円</td> <td>(18,321,367千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td>7.64</td> <td>(7.09)</td> </tr> </tbody> </table>		事後評価	事前評価	総便益 (B)	37,317,361千円	(129,834,271千円)	総費用 (C)	4,886,355千円	(18,321,367千円)	分析結果 (B/C)	7.64	(7.09)
	事後評価	事前評価											
総便益 (B)	37,317,361千円	(129,834,271千円)											
総費用 (C)	4,886,355千円	(18,321,367千円)											
分析結果 (B/C)	7.64	(7.09)											
② 事業効果の発現状況	本事業で実施された再造林等の森林整備により、持続的な森林資源が確保され、水源かん養機能等の公益的機能の維持が図られた。												
③ 事業により整備された施設の管理状況	本地区はシカが多いため、植栽を実施する際は、シカネットを設置している。設置後は森林組合、森林所有者等により適切に管理されている。												
④ 事業実施による環境の変化	再造林を実施することで、森林の持つ公益的機能の早期回復が図られている。また、間伐を実施することで植栽木の生長が促され、林内が明るくなったことにより下層植生の回復がみられる。												
⑤ 社会経済情勢の変化	平成17年3月に旧佐伯市を含む8市町村が合併し、1市町村としては九州最大面積を有する新たな佐伯市となり、林業の推進体制がより整った。 また、市内に大規模な木材加工施設ができ、本事業で整備された森林から木材が供給され、加工し利用する循環型の林業が確立されつつある。												
⑥ 今後の課題等	<p>本事業により森林整備が着実に実施されてきているが、木材価格の低迷等により森林所有者の森林整備に対する意欲は高いとは言えない状況にある。このため、路網の整備による効率的な施業の実施や、疎植造林など森林整備の低コスト化を推進する必要がある。</p> <p>・地元の意見：本事業により再造林などの森林整備が行われたことで、将来の森林資源の確保と、公益的機能の早期回復が図られている（大分県）</p> <p>森林が適切に管理され、災害発生の防止に貢献している。（佐伯市）</p> <p>本事業の実施により、森林所有者の再造林に対する意欲が向上した。路網整備により、効率的な木材の伐出・運搬が行えるようになり、木材利用量が増加した。（佐伯広域森林組合）</p>												

評価結果

- ・必要性：地域の森林整備が計画的に実施されたことで、森林の公益的機能の維持に貢献している。また、森林所有者が高齢化し、森林整備への意欲が低下しているが、本事業の実施により森林整備が推進されている。
以上のことから、事業の必要性が認められる。
- ・効率性：森林整備の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で実施しており、事業実施に当たっても疎植造林を行うなどコスト縮減に努め、総事業費の削減が図られたことから、事業の効率性が認められる。
- ・有効性：本事業の実施後は、土砂流出の防止、水源涵養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与するなど、本事業の効果が発揮されている。また、皆伐後の再造林も推進され、木材の利用も活発に行われていることから、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業




都道府県名: 大分県

地域(地区)名: さいきし
佐伯市

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	6,584,958	
	流域貯水便益	1,837,989	
	水質浄化便益	4,257,357	
山地保全便益	土砂流出防止便益	6,260,961	
	土砂崩壊防止便益	34,180	
環境保全便益	炭素固定便益	10,894,960	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	7,446,956	
総 便 益 (B)		37,317,361	
総 費 用 (C)		4,886,355	
費用便益比	$B \div C = \frac{37,317,361}{4,886,355} = 7.64$		

森林環境保全整備事業 佐伯市(大分県) 概要図

凡 例	
計画区界	
事業区域	
森林整備	



佐伯市

森林作業道

下刈り

間伐

大分県中央空港

大分県

大分県